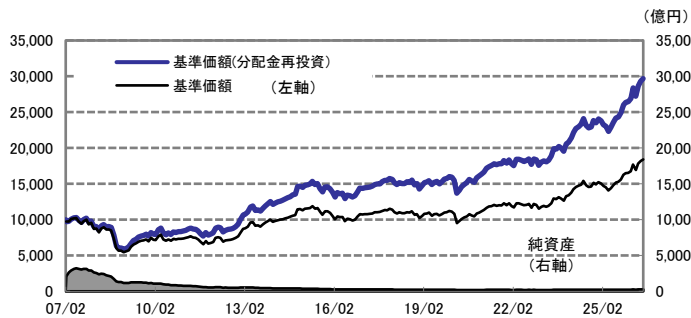


運用実績

2026年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※

18,392 円

※分配金控除後

純資産総額

266.8億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.3%
3ヵ月	8.9%
6ヵ月	12.1%
1年	26.0%
3年	49.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来

196.6%

設定来＝2007年2月21日以降

○信託設定日
2007年2月21日

○信託期間
無期限

○決算日
原則1月、3月、5月、7月、
9月、11月の各20日
(同日が休業日の場合は
翌営業日)

○ご購入価額
ご購入申込日の翌営業日
の基準価額

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

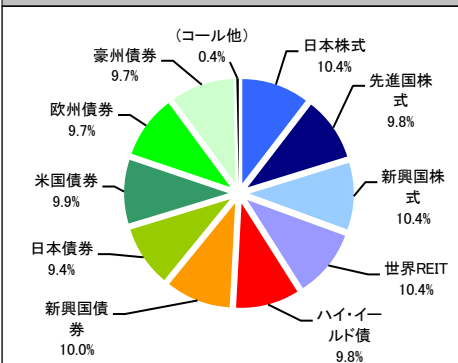
2025年7月	2025年9月	2025年11月	2026年1月	2026年3月	2026年5月	設定来累計
40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	4,730 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

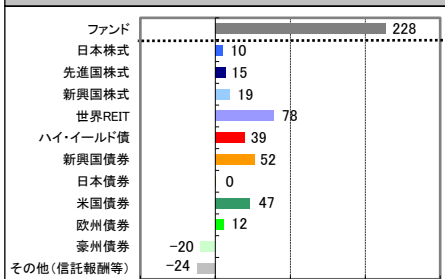
資産内容の概況(投資対象資産別)

2026年6月30日 現在

資産別構成比率

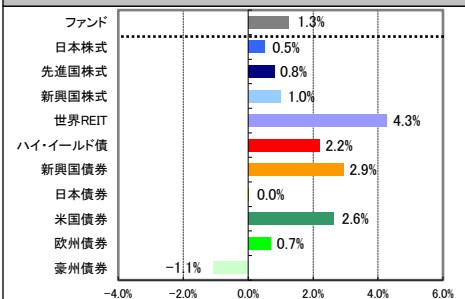


月間基準価額変動の内訳(概算・円・分配金込み)



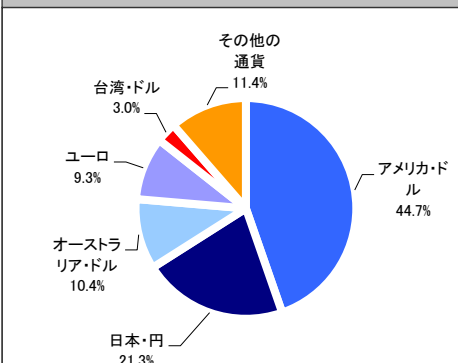
・投資対象資産別の基準価額変動は、原則各投資対象資産に属するマザーファンドの基準価額の月間騰落率と、当ファンドが保有するマザーファンドの組入比率から算出しています。

月間騰落率



・投資対象資産別の月間騰落率は、各投資対象資産に属するマザーファンドの基準価額の月間騰落率から算出しています。

通貨別資産比率

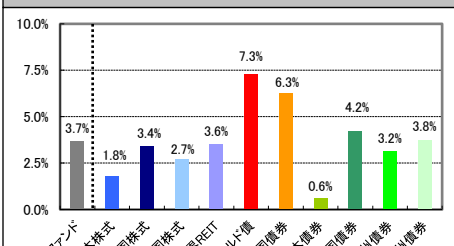


国・地域別資産比率

国・地域	純資産比
アメリカ	34.2%
日本	20.0%
オーストラリア	8.8%
台湾	2.9%
イギリス	2.8%
その他の国・地域	31.6%
その他の資産	3.7%
合計(※)	—

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

株式配当利回り/債券直接利回り



・ファンドの利回りは、各投資対象資産の利回りを、その組入比率で加重平均したものです。各投資対象資産の利回りは、各投資対象資産に属するマザーファンドの組入銘柄の利回り(現地通貨建・課税前・実績ベース、日本株式は各種情報を基にした当社推計)を、その組入比率で加重平均したものです。

日本株式:「ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド」 先進国株式:「グローバル・エクイティ(除く日本)・マザーファンド」 新興国株式:「ノムラ・アカディアン新興国株ファンド マザーファンド」
世界REIT:「ノムラ・ワールドREITマザーファンド」 ハイ・イールド債:「野村米国好利回り社債投信 マザーファンド」 新興国債券:「野村エマージング債券マザーファンド」 日本債券:「ノムラ日本債券オープン マザーファンド」
米国債券:「ノムラ・ブラックロック米国債券オープン マザーファンド」 欧州債券:「ノムラ・インサイト欧州債券マザーファンド」 豪州債券:「野村豪州債券オープン マザーファンド」

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

6月の市場動向

【株式・REIT】

○日本株式:

これまで大きく上昇してきた米半導体関連株の株価が調整したことなどから下落する場面もありましたが、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことや、エネルギー価格の下落などが好感され上昇し、月間では値上がりとなりました。

○先進国株式:

上旬、5月の堅調な米雇用統計を受けて、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。中旬から下旬にかけては、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことなどから上昇する場面もありましたが、これまで大きく上昇してきた米半導体関連株の株価が調整したことなどが下落要因となり、月間で値下がりとなりました。

○新興国株式:

米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことなどが上昇要因となる一方、中国の一部経済指標が弱かったことや、これまで大きく上昇してきたハイテク株を中心に株価が調整した場面があったことなどが下落要因となり、月間では値上がりとなりました。

○世界REIT:

上旬、5月の堅調な米雇用統計を受けて、FRBによる利上げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。中旬から下旬にかけては、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことを受けてエネルギー価格が下落し、インフレ懸念が後退したことから堅調に推移し、月間では値上がりとなりました。

【高利回り債券】

○ハイ・イールド債:

上旬、5月の堅調な米雇用統計を受けて、FRBによる利上げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。中旬、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことなどから上昇し、月間で値上がりとなりました。

○新興国債券:

上旬、5月の堅調な米雇用統計を受けて、FRBによる利上げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。中旬、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことなどから上昇し、月間で値上がりとなりました。

【高格付債券】

○日本債券:

米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことを受けてエネルギー価格が下落し、インフレ懸念が後退したことが上昇要因となり、月間で値上がりとなりました。

○米国債券:

上旬、5月の堅調な米雇用統計を受けて、FRBによる利上げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。中旬から下旬にかけては、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことを受けてエネルギー価格が下落し、インフレ懸念が後退したことから堅調に推移し、月間では値上がりとなりました。

○欧州債券:

上旬、ECB(欧州中央銀行)による利上げ観測の高まりから下落しました。中旬から下旬にかけては、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことを受けてエネルギー価格が下落し、インフレ懸念が後退したことから堅調に推移し、月間では値上がりとなりました。

○豪州債券:

中旬から下旬にかけて、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まり、エネルギー価格の下落からインフレ懸念が後退したことや、5月のCPI(消費者物価指数)の前月比が市場予想を下回ったことなどを背景に上昇し、月間で値上がりとなりました。

【為替】

○日本政府の財政支出拡大への懸念などが円安要因となる一方、インフレ懸念の後退を受けて海外の金利が低下し、内外金利差が縮小したことは円高要因となり、月間では、米ドルは円に対して上昇した一方、ユーロ、豪ドルは円に対して下落しました。

6月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○各資産へ概ね均等(各10%程度)に分散投資を行ない、投資信託証券のフルインベストメント(高位組入)を維持するよう努めました。

○基準価額の要因では、不動産や新興国債券などが値上がり要因となりました。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社

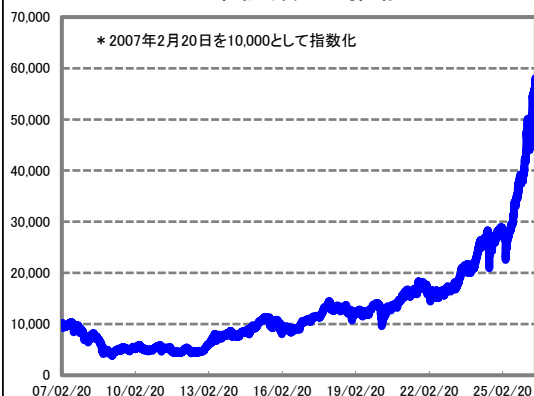
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人資産運用業協会 /

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【日本株式】ファンド名: ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
0.5%	25.6%	41.9%	86.8%	453.4%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

	業種	純資産比
1	電気機器	27.6%
2	銀行業	8.3%
3	非鉄金属	7.9%
4	機械	5.9%
5	化学	4.9%

組入上位5銘柄

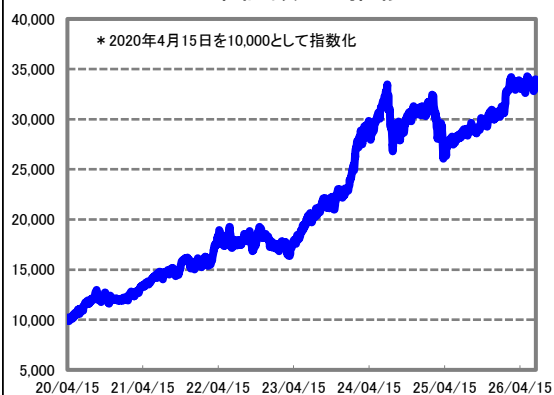
	銘柄	純資産比
1	村田製作所	7.0%
2	東京エレクトロン	4.1%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.6%
4	キオクシアホールディングス	3.2%
5	オリックス	2.8%

国・地域別比率

	国・地域	純資産比
1	日本	98.0%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

【先進国株式】ファンド名: グローバル・エクイティ(除く日本)・マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント (GQG・パートナーズ・エルエルシー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
0.8%	0.6%	10.4%	19.3%	239.6%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2020年4月15日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

	業種	純資産比
1	石油・ガス・消耗燃料	17.0%
2	電力	15.2%
3	タバコ	14.2%
4	保険	10.5%
5	各種電気通信サービス	7.0%

組入上位5銘柄

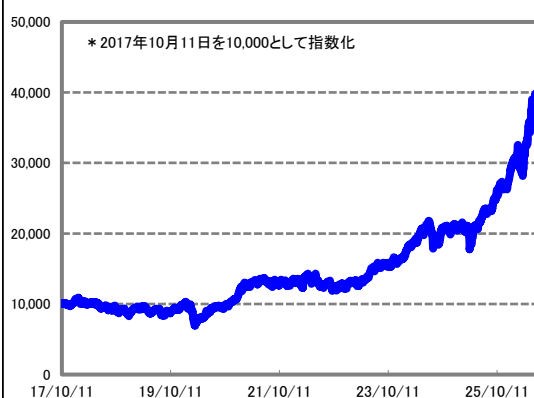
	銘柄	純資産比
1	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5.7%
2	ALTRIA GROUP INC	4.4%
3	EXXON MOBIL CORP	4.3%
4	VERIZON COMMUNICATIONS	3.8%
5	TOTALENERGIES SE	3.6%

国・地域別比率

	国・地域	純資産比
1	アメリカ	59.9%
2	スイス	6.8%
3	イギリス	5.9%
4	インド	5.0%
5	フランス	4.3%

【新興国株式】ファンド名: ノムラ・アカディアン新興国株ファンド マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント (アカディアン・アセット・マネジメント・エルエルシー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
1.0%	31.3%	35.7%	67.4%	275.1%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2017年10月11日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

	業種	純資産比
1	半導体・半導体製造装置	31.4%
2	銀行	17.2%
3	コンピュータ・周辺機器	12.1%
4	石油・ガス・消耗燃料	6.6%
5	電子装置・機器・部品	5.9%

組入上位5銘柄

	銘柄	純資産比
1	SK HYNIX INC	9.5%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR	9.2%
3	SAMSUNG ELECTRONICS	8.7%
4	MEDIATEK INC	2.6%
5	DELTA ELECTRONICS INC	2.3%

国・地域別比率

	国・地域	純資産比
1	台湾	27.8%
2	韓国	25.0%
3	中国	11.6%
4	インド	6.1%
5	ケイマン諸島(英領)	5.8%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

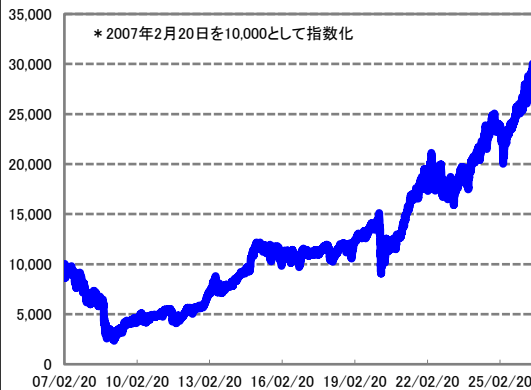
NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【世界REIT】ファンド名: ノムラ・ワールドREITマザーファンド /

委託会社: 野村アセットマネジメント
(コーペン&スティーズ・キャピタル・マネジメント・インク)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
4.3%	15.2%	16.9%	30.5%	200.4%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5セクター

	セクター	純資産比
1	リテール	17.3%
2	医療・介護施設	17.2%
3	産業用施設	13.9%
4	データセンター	12.6%
5	賃貸住宅	10.9%

組入上位5銘柄

	銘柄	純資産比
1	WELLTOWER INC	9.9%
2	DIGITAL REALTY TRUST INC	7.6%
3	PROLOGIS INC	6.0%
4	EQUINIX INC	4.6%
5	AGREE REALTY CORP	3.3%

国・地域別比率

	国・地域	純資産比
1	アメリカ	74.7%
2	オーストラリア	6.3%
3	日本	4.5%
4	イギリス	3.5%
5	シンガポール	2.6%

【ハイ・イールド債券】ファンド名: 野村米国好利回り社債投信 マザーファンド /

委託会社: 野村アセットマネジメント
(ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
2.2%	4.7%	6.0%	19.8%	418.7%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	B	38.6%
2	BB	36.2%
3	CCC	15.0%
4	BBB	1.9%
5	CC	0.4%

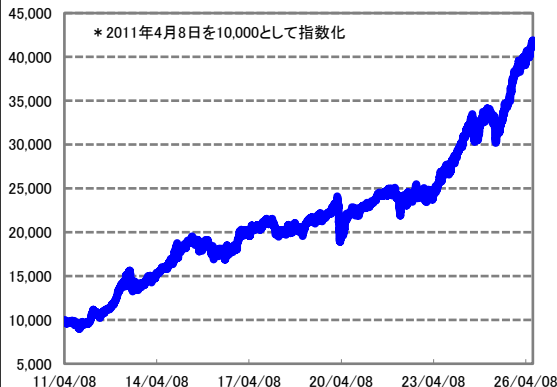
通貨別比率

	通貨	純資産比
1	アメリカ・ドル	95.0%
2	ユーロ	0.2%
3	-	-
4	-	-
5	-	-

【新興国債券】ファンド名: 野村エマージング債券マザーファンド /

委託会社: 野村アセットマネジメント
(ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
2.9%	6.9%	8.4%	27.8%	319.0%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2011年4月8日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	BBB	26.8%
2	BB	24.2%
3	B	21.6%
4	CCC	9.2%
5	AA	2.3%

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	アメリカ・ドル	83.9%
2	ユーロ	11.0%
3	ペソ	1.5%
4	パラグアイ・グアラニー	0.9%
5	チェコ・コルナ	0.5%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

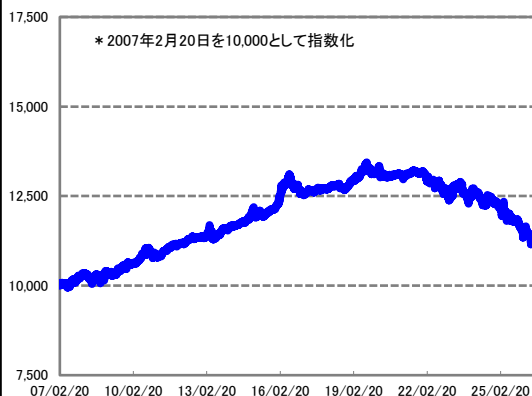
◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【日本債券】ファンド名: ノムラ日本債券オープン マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
0.0%	-1.1%	-2.5%	-5.8%	12.9%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

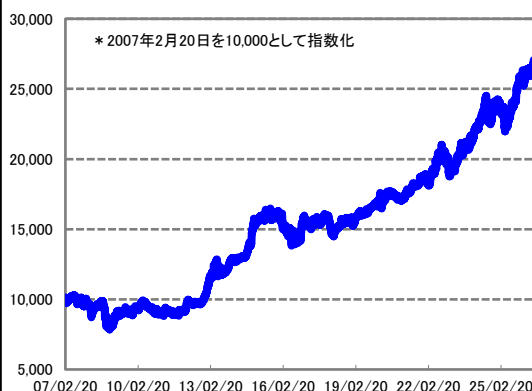
	格付	純資産比
1	AAA	64.7%
2	A	21.3%
3	AA	9.6%
4	BBB	2.6%
5	BB	-

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	日本・円	100.1%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

【米国債券】ファンド名: ノムラブラックロック米国債券オープン マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント
(ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
2.6%	2.9%	4.5%	17.2%	170.6%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	AA	62.6%
2	AAA	14.6%
3	BBB	12.4%
4	A	7.7%
5	BB	0.5%

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	アメリカ・ドル	114.1%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

【欧州債券】ファンド名: ノムラインサイト欧州債券 マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント
(インサイト・インベストメント・マネジメント(グローバル)リミテッド)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
0.7%	4.0%	2.0%	11.9%	175.7%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2008年10月17日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	BBB	23.0%
2	AA	22.0%
3	AAA	20.2%
4	A	12.8%
5	BB	2.3%

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	ユーロ	97.4%
2	イギリス・ポンド	14.6%
3	ノルウェー・クローネ	2.0%
4	スイス・フラン	1.7%
5	デンマーク・クローネ	0.6%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

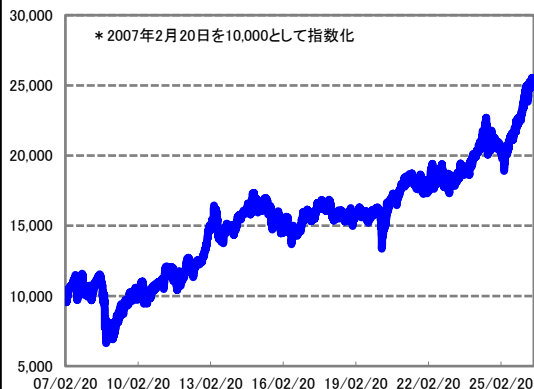
◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【豪州債券】ファンド名: 野村豪州債券ファンド マザーファンド / 委託会社: 野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
-1.1%	4.8%	8.9%	19.2%	150.8%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	AAA	42.1%
2	AA	43.9%
3	A	5.7%
4	BBB	4.3%
5	-	-

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	オーストラリア・ドル	92.1%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの特色

- 信託財産の着実な成長を目的に運用を行なうことを基本とします。
- 日本、先進国、新興国の各株式、日本、米国、欧州、豪州、新興国の各債券^{※1}、ハイ・イールド債、および世界の不動産投資信託証券^{※2}(REIT)の10の資産(アセットクラス)を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とします。
^{※1} 国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。
^{※2} 金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(一般社団法人資産運用業協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。)とします。
- 10のアセットクラスを考慮して選択した、複数の投資信託証券にバランスよく分散投資します。
[◆] 投資信託証券への投資にあたっては、概ね均等(各10%程度を基本投資割合とします。)に行ない、インカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターンの追求を目指して運用を行ないます。
[◆] アセットクラス毎に、運用において優れていると判断した投資信託証券を1つもしくは少数選定し、分散投資を行ないます。
[◆] 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRG)からの助言を受けます。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは、複数の投資信託証券(ファンド)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の20日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。
^{*} 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができません場合があります。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券およびREIT等を実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落、当該REITの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券の発行体および当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2007年2月21日設定)
- 決算日および収益分配 年6回の決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の20日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動引き落とし投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.2%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認下さい。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.595%(税抜年1.45%)以内(2026年4月16日現在年1.595%(税抜年1.45%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが投資対象とする投資信託証券については、2026年4月16日現在、信託報酬は収受しておりませんので、ファンドにおける実質的な信託報酬も上記と同じです。 また、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>野村アセットマネジメント株式会社
 [ファンドの運用の指図を行なう者]
<受託会社>野村信託銀行株式会社
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



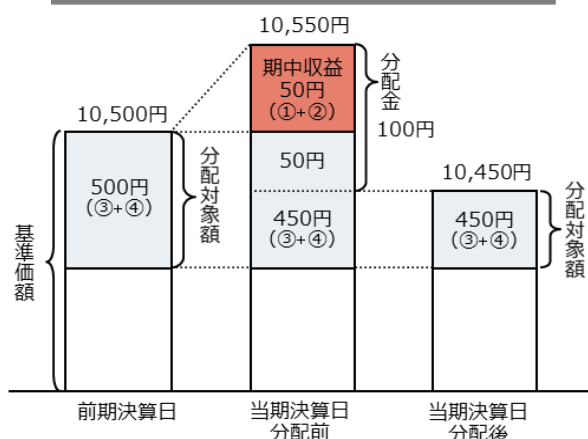
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

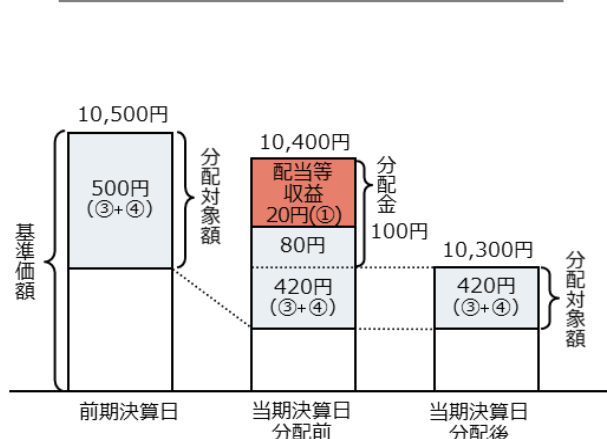
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



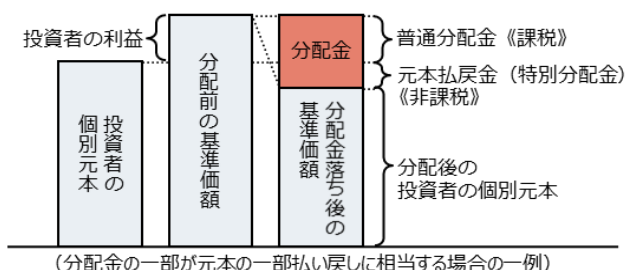
前期決算から基準価額が下落した場合



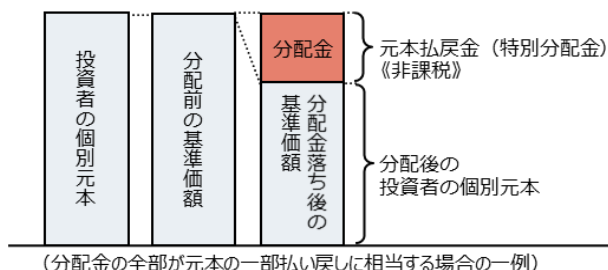
- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金（特別分配金）	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金（特別分配金）となります。

- ◆ 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



(分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例)



(分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例)

分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

◆ 設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ノムラ・グローバル・オールスターズ（愛称:GA10）

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

ノムラ・グローバル・オールスターズ（愛称:GA10）

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。
お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。